

全数・定点報告疾患集計表（管内で届出のあった疾患のみ抜粋）

【全数報告疾患】

	疾患名	20週～21週	累計(年)
2類	結核	0	1
4類	レジオネラ症	0	1
	E型肝炎	1	2
5類	百日咳	0	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2
	梅毒	0	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	2
	アメーバ赤痢	0	1
	急性脳炎	0	1
	水痘(入院例)	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1
	多剤耐性緑膿菌感染症	0	1

【定点報告疾患】 ※県より上回っているものは赤字にしています。

疾患名	山武保健所		千葉県	
	20週	21週	20週	21週
インフルエンザ	0	0.33	0.07	0.06
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	0.17	0.17	0.51	0.54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.67	5.67	2.53	2.78
感染性胃腸炎	0.67	0	3.5	3.91
伝染性紅斑	0.33	0	0.05	0.03
流行性角結膜炎	1.0	2.0	0.47	0.38
急性呼吸器感染症 (ARI)	35.67	40.17	53.35	52.81

※定点報告疾患については、該当週に報告数0の疾患は掲載していません。また、第20～21週のグラフを別添しております。

感染症トピックス

TOPICS 1

コンゴ民主共和国及びウガンダにおけるエボラ出血熱の流行について

日本時間5月17日、世界保健機関 (WHO) が、コンゴ民主共和国及びウガンダにおけるエボラ出血熱の流行において「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC: フェイク)」と判断しました。

WHOによると、5月21日現在、コンゴ民主共和国からは疑い例746件（うち疑い例中の死亡者176名）が報告されており、コンゴ民主共和国及びウガンダからは、確定例85件（うちウガンダで2件）（うち死亡者10名、ウガンダで1名）が報告されています。

本事例は、コンゴ民主共和国における17回目のエボラ出血熱のアウトブレイクとなっています。

国立健康危機管理研究機構 (JIHS) のリスク評価によると、今後国境を接した周辺国へも感染が拡大するリスクは高いものの、現時点で得られる情報からは、日本での輸入症例の発生や、日本国内での伝播の可能性は低く、日本の一般市民が感染する蓋然性は低いと評価しています。

こちらをクリックいただくと、御覧いただけます➡

感染症解説

エボラ出血熱

病原体

エボラウイルス

症状

初期症状は発熱、頭痛、筋肉痛などで、進行すると下痢、嘔吐、発疹、肝機能及び腎機能の異常を伴い、さらには出血傾向、意識障害などの重篤な症状を示し死亡することがあります。

潜伏期間

2から21日（通常4から10日）

感染経路

主な感染経路は、接触感染です。
オオコウモリや患者の血液、体液、排泄物との接触を通じて感染します。

予防方法

流行国では野生動物や患者に直接触れない、洞窟に入らないなどを心がけましょう。

【引用文献】

〈厚生労働省HP エボラ出血熱〉

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708.html>

〈国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト (JIHS) エボラ出血熱／コンゴ民主共和国およびウガンダにおけるエボラ出血熱の流行について〉

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/ebola-virus-disease/index.html>

〈国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト (JIHS) コンゴ民主共和国およびウガンダにおけるエボラ出血熱の流行について〉

<https://id-info.jihs.go.jp/risk-assessment/ebola-virus-disease/20260518/index.html>

**コンゴ民主共和国
ウガンダ
エボラ出血熱が発生**

【検査所からのお知らせ】

- ✓ 感染した人の血液や体液、これに汚染された可能性のあるもの、動物（死体を含む）に触らないでください。
- ✓ 病原体に感染したおそれがある方を対象に、最大21日間、健康状態の観察を行います。コンゴ民主共和国又はウガンダに渡航又は滞在された方は、帰国時に検査官にお申し出ください。

エボラ出血熱

症状
潜伏期間は2日から21日程度で、発熱、全身倦怠感、筋肉痛、頭痛などの症状に始まり、その後、嘔吐、下痢、発疹が出現します。さらに症状が重篤すると、出血傾向や意識障害が生じます。

感染経路
感染した動物（コウモリ、霊長類など）や感染した人の体液等（血液、分泌液、吐物・排泄物など）との接触などです。

詳しくは
海外で健康に過ごすために
FORTH 【エボラ出血熱】
厚生労働省検査所



厚生労働省では、毎年6月1日～6月7日までの1週間を「HIV検査普及週間」とし、HIV検査の普及・浸透に向けた普及啓発イベントを実施しています。

エイズ動向委員会によると、令和7年の新規HIV感染者報告数・新規エイズ患者報告者数は、令和6年と比べわずかに減少しています。また、新規報告数全体に占めるエイズ患者報告数の割合は、依然として約3割で推移しています。

山武保健所では、毎月第2・4水曜日に無料・匿名でHIV等性感染症検査・肝炎ウイルス検査を実施しています。詳しくは、山武保健所ホームページを御確認ください。

山武保健所 次回のHIV等性感染症検査・肝炎ウイルス検査の御案内

実施場所 山武保健所 2階

実施日時 6月24日(水) 13時

予約開始日 6月1日(月)



予約方法

電話(午前9時～)

TEL:0475-54-0611

山武保健所 健康生活支援課



オンライン申し込み(午前0時～)



申し込み
(山武保健所HP)は
こちらから➔



検査内容

HIV、梅毒、クラミジア、淋菌、B型肝炎、C型肝炎

注意事項

- 保健所では検査のみ実施します。症状のある方は医療機関を受診してください。
- HIV検査は、感染後すぐには検査に十分な量の抗原や抗体がつかられないため、感染を心配することがあったときから3か月以上経過してからの検査をおすすめします。
- 結果はご本人に原則口頭のみで説明します。検査成績書が必要な場合には、本人確認できる身分証が必要になり、匿名検査にはなりません。また、内容に関わらず原則2週間後に対面でお渡しします。
- やむを得ず検査が受けられなくなった場合には、山武保健所(山武健康福祉センター)までご連絡ください。

検査
の流れ

★年齢(○代)

★性別(男性・女性・その他)

についてお聞きしています

その他、答えたくない質問には答えなくても問題ありません

HIVを含む検査は原則対面で
結果をお伝えしています

予約



問診



採血



採尿



結果説明
血液検査



結果説明
尿検査



予約は毎月1日から前日正午まで
受け付けています
※定員になり次第、予約締め切ります

先に採尿を行うこともできます
(受付にお声がけをお願いします)

2週間後以降に電話でお伝えします

【引用文献】

〈厚生労働省HP HIVとエイズ〉

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_inou/kenkou/kekaku-kansenshou/aids/index.html

〈第166回エイズ動向委員会 委員長コメント〉

https://api-net.ifap.or.jp/status/japan/data/2026/2603/20260326_coment.pdf

山武保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 — 警報基準値 - - - 解除基準値

マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみCOVID-19、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

